

令和7年度 第2回 広島県道路メンテナンス会議

< 書 面 開 催 >

資料配布日：令和8年3月3日（火）

議 事 次 第

| ○ 議 事 | 資料ページ |
|------------------|-------|
| 1. 規約改正 | P 1 |
| 2. 令和8年度道路関係予算概要 | P 5 |
| 3. 自治体支援の取組 | P 8 |

広島県道路メンテナンス会議規約（案）

（名称）

第1条 本会議は、「広島県道路メンテナンス会議」（以下「会議」という。）と称する。

（目的）

第2条 会議は、道路法（昭和27年法律第180号）第28条の2に規定の「協議会」に位置付けるものとし、広島県内の道路管理を計画的、効率的に行うため、各道路管理者が相互に連絡調整等を行うことにより、道路施設等の予防保全・老朽化対策の強化等を図ることを目的とする。

（審議事項）

第3条 会議は、前条の目的を達成するため、次の事項について審議する。

- 一 道路施設の維持管理等に係る情報共有・情報発信に関すること。
- 二 道路施設の点検、修繕計画等の把握・調整に関すること。
- 三 道路施設の技術基準類、健全性の診断、技術的支援等に関すること。
- 四 その他道路の管理に関連し会長が妥当と認めた事項

（組織）

第4条 会議は、別表1に掲げる、広島県内における高速自動車国道、都市高速道路、一般国道、県道及び市町道の各道路管理者等で組織する。

2 会議には、会長及び副会長6名を置くものとし、会長は国土交通省中国地方整備局広島国道事務所長、副会長は国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所長、国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所長、広島県土木建築局道路整備課長、広島県土木建築局技術企画課長、広島市道路交通局道路部道路課長及び西日本高速道路株式会社中国支社広島高速道路事務所長とする。

3 会長に事故等あるときは、副会長がその職務を代行する。

4 会長は、個別課題等についての検討・調整を行うため、専門部会を設置することができる。

5 会議には、高速自動車国道、都市高速道路、一般国道、県道及び市町道の各道路管理者の代表者からなる幹事会を置くものとし、構成は別表2のとおりとする。

6 会議に、道路施設等の不具合発生時等における技術的な助言、専門的な研究機関等への技術相談の窓口を設置し、国土交通省中国地方整備局中国道路メンテナンスセンター技術課に置く。

（会議の運営）

第5条 会議は、必要に応じて会長が招集し、運営する。

2 会議には、必要に応じて、会長が指名する者の出席を求めることができる。

（幹事会）

第6条 幹事会は、必要に応じて幹事長が招集し、次の事項について調整する。

- 一 会議の運営全般についての補助、会員相互の連絡調整に関すること。

- 二 会議における審議議題の調整に関すること。
- 三 その他会議の運営に際し必要となる事項の調整に関すること。

(事務局)

第7条 会議の事務局は、国土交通省中国地方整備局広島国道事務所管理第二課、国土交通省中国地方整備局中国道路メンテナンスセンター技術課、広島県土木建築局道路整備課、広島市道路交通局道路部道路課及び西日本高速道路株式会社中国支社広島高速道路事務所統括課に置く。

(規約の改正)

第8条 本規約の改正等は、会議の審議・承認を得て行う。

(その他)

第9条 本規約に定めるもののほか必要な事項は、その都度協議して定める。

(附 則)

本規約は、平成26年 6月30日から施行する。

| | | |
|--------|-------|----|
| 平成27年 | 6月12日 | 改正 |
| 平成28年 | 7月26日 | 改正 |
| 平成29年 | 8月 9日 | 改正 |
| 平成29年1 | 2月22日 | 改正 |
| 令和 元年 | 8月20日 | 改正 |
| 令和 2年 | 8月28日 | 改正 |
| 令和 3年 | 8月30日 | 改正 |
| 令和 4年 | 9月30日 | 改正 |
| 令和 5年 | 9月11日 | 改正 |
| 令和 6年 | 3月25日 | 改正 |
| 令和 8年 | 月 日 | 改正 |

広島県道路メンテナンス会議構成員名簿

別表1

| | 所 属 | 役 職 |
|--------|-------------------------------|-----------------|
| 会長 | 国土交通省中国地方整備局 | 広島国道事務所長 |
| 副会長 | 国土交通省中国地方整備局 | 福山河川国道事務所長 |
| 副会長 | 国土交通省中国地方整備局 | 三次河川国道事務所長 |
| 副会長 | 広島県土木建築局 | 道路整備課長 |
| 副会長 | 広島県土木建築局 | 技術企画課長 |
| 副会長 | 広島市道路交通局道路部 | 道路課長 |
| 副会長 | 西日本高速道路株式会社中国支社 | 広島高速道路事務所長 |
| | 広島県道路公社 | 道路部長(兼)維持管理課長 |
| | 広島高速道路公社 | 保全課長 |
| | 本州四国連絡高速道路株式会社しまなみ尾道管理センター | 所長 |
| | 呉市 | 土木部長 |
| | 竹原市 | 建設部長 |
| | 三原市 | 建設部長 |
| | 尾道市 | 建設部長 |
| | 福山市 | 土木部長 |
| | 府中市 | 建設部長 |
| | 三次市 | 建設部長 |
| | 庄原市 | 環境建設部長 |
| | 大竹市 | 建設部長 |
| | 東広島市 | 建設部長 |
| | 廿日市市 | 建設部長 |
| | 安芸高田市 | 建設部長 |
| | 江田島市 | 土木建築部長 |
| | 府中町 | 建設部長 |
| | 海田町 | 建設部長 |
| | 熊野町 | 建設農林部長 |
| | 坂町 | 技監(兼)建設部長 |
| | 安芸太田町 | 建設課長 |
| | 北広島町 | 建設課長 |
| | 大崎上島町 | 建設課長 |
| | 世羅町 | 建設課長 |
| | 神石高原町 | 建設課長 |
| | 国土交通省中国地方整備局 | 中国技術事務所長 |
| | 国土交通省中国地方整備局 | 中国道路メンテナンスセンター長 |
| | 一般社団法人広島県土木協会 | 技術部長 |
| オブザーバー | 国土交通省中国地方整備局道路部 | 地域道路調整官 |
| | 国土交通省中国地方整備局道路部 | 道路保全企画官 |
| | 西日本高速道路株式会社中国支社保全サービス事業部 | 保全サービス統括課長 |
| 事務局 | 国土交通省中国地方整備局広島国道事務所管理第二課 | |
| | 国土交通省中国地方整備局中国道路メンテナンスセンター技術課 | |
| | 広島県土木建築局道路整備課 | |
| | 広島市道路交通局道路部道路課 | |
| | 西日本高速道路株式会社中国支社広島高速道路事務所統括課 | |

広島県道路メンテナンス会議幹事会構成員名簿(案)

別表2

| | 所 属 | 役 職 |
|--------|-------------------------------|--------------|
| 幹事長 | 国土交通省中国地方整備局広島国道事務所 | 副所長 |
| 副幹事長 | 国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所 | 副所長 |
| 副幹事長 | 国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所 | 副所長 |
| 副幹事長 | 広島県土木建築局道路整備課 | 参事 |
| 副幹事長 | 広島県土木建築局技術企画課 | 参事 |
| 副幹事長 | 広島市道路交通局道路部道路課 | 課長補佐 |
| 副幹事長 | 西日本高速道路株式会社中国支社広島高速道路事務所 | 副所長 |
| | 広島県道路公社道路部維持管理課 | 維持管理係長 |
| | 広島高速道路公社保安全管理部保全課 | 課長補佐係長 |
| | 本州四国連絡高速道路株式会社しまなみ尾道管理センター | 副所長 |
| | 呉市土木部土木整備課 | 課長 |
| | 竹原市建設部建設課 | 課長 |
| | 三原市建設部土木整備管理課 | 課長 |
| | 尾道市建設部維持修繕課 | 課長 |
| | 福山市建設局土木部道路整備課 | 課長 |
| | 府中市建設部土木課 | 課長 |
| | 三次市建設部土木課 | 課長 |
| | 庄原市環境建設部建設課 | 課長 |
| | 大竹市建設部土木課 | 課長 |
| | 東広島市建設部技術企画課 | 建設部次長(兼)課長 |
| | 廿日市市建設部維持管理課 | 課長 |
| | 安芸高田市建設部建設課 | 課長 |
| | 江田島市土木建築部建設課 | 課長 |
| | 府中町建設部都市整備維持管理課 | 課長 |
| | 海田町建設部建設課 | 課長 |
| | 熊野町建設農林部建設課 | 建設農林部次長(兼)課長 |
| | 坂町建設部産業建設課 | 課長 |
| | 安芸太田町建設課 | 課長補佐 |
| | 北広島町建設課 | 課長補佐 |
| | 大崎上島町建設課 | 土木耕地係長 |
| | 世羅町建設課 | 管理係長 |
| | 神石高原町建設課 | 課長補佐 |
| | 国土交通省中国地方整備局中国技術事務所 | 副所長 |
| | 国土交通省中国地方整備局中国道路メンテナンスセンター | 技術課長 |
| | 一般社団法人広島県土木協会 | 技術部長 |
| オブザーバー | 国土交通省中国地方整備局道路部 | 地域道路課長 |
| | 国土交通省中国地方整備局道路部 | 道路構造保全官 |
| | 西日本高速道路株式会社中国支社保全サービス事業部 | 保全サービス統括課長 |
| 事務局 | 国土交通省中国地方整備局広島国道事務所管理第二課 | |
| | 国土交通省中国地方整備局中国道路メンテナンスセンター技術課 | |
| | 広島県土木建築局道路整備課 | |
| | 広島市道路交通局道路部道路課 | |
| | 西日本高速道路株式会社中国支社広島高速道路事務所統括課 | |

✓ 令和8年度道路関係予算概要

令和8年度道路関係予算総括表

＜令和8年度道路関係予算総括表＞

(国費:億円)

| | R8決定額 (A) | 前年度 (B) | 倍率 (A/B) |
|--------------------|--------------|------------|-------------|
| 直轄事業 | 16,022 | 15,959 | 1.00 |
| 改築その他 | 10,109 | 10,217 | 0.99 |
| 維持修繕 | 4,768 | 4,634 | 1.03 |
| 諸費等 | 1,145 | 1,108 | 1.03 |
| 補助事業 | 5,123 | 5,110 | 1.00 |
| 高規格道路、IC等アクセス道路その他 | 2,546 | 2,559 | 0.99 |
| 道路メンテナンス事業 | 2,312 | 2,282 | 1.01 |
| 除雪 | 140 | 133 | 1.05 |
| 補助率差額 | 125 | 136 | 0.92 |
| 有料道路事業等 | 120 | 120 | 1.00 |
| 合計 | 21,265 | 21,189 | 1.00 |

注1. 直轄事業の国費には、地方公共団体の直轄事業負担金(2,908億円)を含む。

注2. 四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。

※上記の他に、防災・安全交付金(国費8,529億円[対前年度比1.01])、社会資本整備総合交付金(国費4,597億円[対前年度比0.94])があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

※上記の他に、東日本大震災からの復旧・復興対策事業として、令和8年度予算において社会資本整備総合交付金(国費13億円[対前年度比0.05])があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

※上記の他に、直轄道路(権限代行区間を含む)に係る災害復旧事業費(国費36億円)等がある。

※上記の他に、行政部費(国費7億円)およびデジタル庁一括計上分(国費11億円)がある。

＜参考＞防災・減災、国土強靱化の推進

道路関係予算は、令和7年度補正予算において国費3,687億円が措置されている。

※この他に防災・安全交付金および社会資本整備総合交付金があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

広島県道路メンテナンス会議 年間スケジュール(案)

--- 【令和8年度】 ---

7月頃

第1回地下占用物連絡会議

8月下旬

メンテナンス年報の公表

9月頃

第1回 道路メンテナンス会議

- ・令和7年度の点検結果、修繕実施状況
- ・令和8年度自治体技術支援（活動予定）
- ・課題の共有、連絡調整 など

(同時開催)

跨道橋連絡会議

(同時開催)

道路鉄道連絡会議

随時

**点検勉強会（講習会）
点検支援技術現地見学会 等**

令和8年度点検実施結果（見込み）

1月頃

第1回 道路メンテナンス会議幹事会

- ・令和8年度の点検結果見込、修繕実施状況
- ・令和9年度以降の点検計画
- ・令和8年度自治体技術支援（活動報告）
- ・直轄診断箇所の推薦
- ・テーマを選定しての議論 など



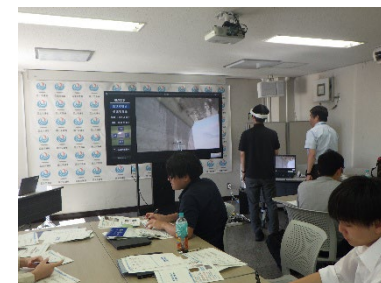
3月頃

第2回 道路メンテナンス会議

自治体支援の取り組み（R7年度実績）

橋梁点検・診断講習会

- ・ 初心者向け（WEB講座）「やってみよう橋梁定期点検」 通年
- ・ 橋梁定期点検講習会（VR）： 広島県西部（6月20日）、広島県東部（8月27日）
- ・ 東広島市点検勉強会（9月26日）、三原市橋梁点検勉強会（10月2日）
- ・ 広島県土木技術職員研修（橋梁点検演習）（10月3日）
- ・ 広島県アセットマネジメント現場研修（11月14日）



橋梁定期点検講習会（VR）

点検支援技術活用講習会・見学会

- ・ 橋梁点検講習会（点検支援技術）三次河川国道事務所（10月29日）
- ・ トンネル点検講習会（点検支援技術）三次河川国道事務所（11月14日）
- ・ 道路メンテナンス事業補助制度における点検新技術活用説明会（本局 道路部）（11月27日）



広島県アセットマネジメント現場研修

橋梁修繕講習会

- ・ 橋梁管理実務者講習会（WEB講習会） R8. 2月～R8. 10月（予定）

橋梁修繕現場見学会

開催なし

技術相談・不具合対応支援

- ・ 技術相談：3件（広島県内）
- ・ 不具合対応支援：なし（広島県内）

新技術に関する情報提供

- ・ 『新技術・新工法の一元化リスト』をHPへ掲載 2回/年更新予定



橋梁点検講習会（点検支援技術）



トンネル点検講習会（点検支援技術）

自治体支援の取り組み（R8年度予定）

橋梁点検・診断講習会

- 実施予定：
- ・ 初心者向け（WEB講座）「やってみよう橋梁定期点検」：通年
 - ・ 橋梁定期点検講習会（VR）：5月～8月頃 ※その他要望に応じ随時実施予定
 - ・ 点検要領改訂に伴う講習会：※要望に応じ随時実施予定
 - ・ 広島県土木技術職員研修（橋梁点検演習）（10月頃）
 - ・ 広島県アセットマネジメント現場研修（11月頃）

点検支援技術活用講習会・見学会

- 実施予定：随時
- ・ 各道路管理者（広島国道事務所、三次河川国道事務所、福山河川国道事務所）による点検支援技術（新技術）の試行に合わせて開催

橋梁修繕講習会

- ・ 令和7年度 橋梁管理事務者講習会（WEB講習会） R8.2月～R8.10月（予定）
- ・ 令和8年度 橋梁管理事務者講習会（WEB講習会） R9.1月～R9.9月（予定）

橋梁修繕現場見学会

- 実施予定：随時
- ・ 各道路管理者から橋梁補修工事現場を提供
 - ・ **新技術**の使用等現場の状況に合わせて開催

技術相談・不具合対応支援

- ・ 診断、工法選定等の技術相談
- ・ 道路施設不具合等の対応支援

新技術に関する情報提供

- ・ 『新技術・新工法の一元化リスト』をHPへ掲載 2回/年更新予定

| ■点検に関する技術 | | | | | | | | | | NET IS対象技術 | | | | 性能カタログ対象技術 | | |
|-----------|------|--|--------------|------------------|----------|------------|------------|----------------------|----|------------|-----|------------------|----------|--------------|----------------|--|
| No. | 分類項目 | 技術名称 | NET IS 掲載 | NET IS（前項の新技術）※2 | | | | NET ISの 活用対象案件数※4 | | | | 性能 カタログ 掲載 | 性能カタログ番号 | | | |
| | | | | 難関技術 | 新規 技術 | 評価 促進技術 | 活用 促進技術 | 経済性 | 工期 | 品質 | 施工性 | | | 中間評価 | 効果 | |
| 1 | 点検 | 非破壊検査技術 橋梁点検・床面上部非破壊検査システム(床盤キセツケー) | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1件 | 7件 | CB-130004-VE | |
| 2 | 点検 | 非破壊検査技術 橋梁点検・橋脚点検システム(橋脚キセツケー) | ○ | ○ | H29 | | | ○ | ○ | - | ○ | | 7件 | SK-110019-VE | BR020004-V0120 | |

| ■措置（修繕、補修）に関する技術 | | | | | | | | | | キーワード検索 | | | | | | |
|------------------|---------------------|-------------------|--|--------------|------|----------|------------|------------|-----|---------|----|-----|------|-----|------------------|----------|
| No. | 措置 (新工法・ 新材料) | 措置 (修繕・ 補修) | 技術名称 | NET IS 掲載 | 難関技術 | 新規 技術 | 評価 促進技術 | 活用 促進技術 | 経済性 | 工期 | 品質 | 施工性 | 中間評価 | 効果 | 性能 カタログ 掲載 | 性能カタログ番号 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 措置 (新工法・ 新材料) | コンクリート 補修・補強 | 【注】橋梁系補修材料※2は、 対応ソフトウェア・補修時の運用保証に期待で、施工性が良好な短工期・高品質な補修材。施工は業者側の責任で材料を1回投与のみで敷水は不要。従来的な補修工法と比較により、かぶりを健全に保ち補修量を抑制。更なる品質向上、耐久性向上、長寿命化に寄与する。 | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 8件 | CG-100013-VE | |
| 2 | 措置 (新工法・ 新材料) | コンクリート 補修・補強 | 【注】補修は、コンクリート外のはく剥離防止対策ネット工法で、従来のように、断面補修工法に比べ、新技術の活用により短期間で経済的に剥離防止が可能となり、施工後にはひび割れ等の発生懸念がなくなる。並置に部分補修が図れます。 | ○ | | | | | ○ | ○ | - | ○ | 3件 | 10件 | SK-140006-VR | |

新技術・新工法の一元化リスト

■ 橋梁点検勉強会 (東広島市、三原市)

○ 目的

令和6年度の点検要領改訂に伴い、改訂となった77条調査(国様式1~3)の記入方法に特化した講習会で、各自治体の要望を受け開催。

○ 実施日・参加者

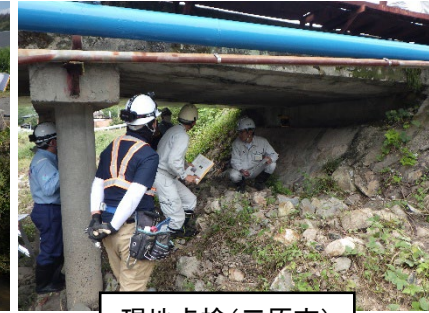
開催日：令和7年9月26日(金) 東広島市【参加者：東広島市 20名】
令和7年10月2日(木) 三原市【参加者：三原市 13名】

○ 研修内容

- 座学(橋梁の基礎知識と点検のポイント、診断・所見の記載方法、様式1~3の概要)
- 自治体が管理する勉強会対象橋梁で現地点検し、損傷の確認を行う。
- 会場に戻り、過去の点検調査書や各自で作成した現地記録を基に班別討論を行い、様式1~3を作成。
- 作成した様式1~3を班毎に発表。



現地点検(東広島市)



現地点検(三原市)

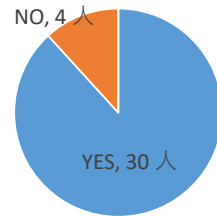


班別討論(東広島市)

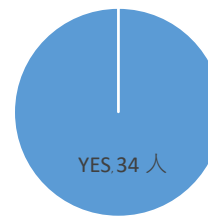
○ 受講者からの意見・感想

アンケート回答：N=34人
約9割が勉強会の内容は理解できた
全員が業務に利用できる

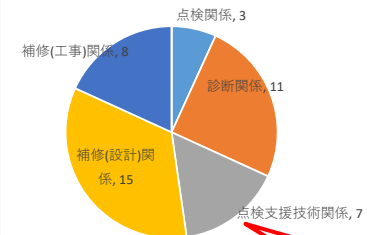
【勉強会の内容は理解できたか】



【今回の勉強会は業務で利用できると思うか】



【今後勉強会に取り入れてほしい内容】



- 具体的な記入方法が分かりやすく大変参考になりました。
- 着眼点から所見の記載方法まで分かり有意義でした
- 座学と現地と充実していたが、時間をもう少し取れば良かったかと思います
- 座学でポイントを押さえ、現地確認し、最後にまとめる流れがとても良かったです。
- 資料中に橋梁についての基礎知識が多々含まれており、橋梁に関する業務経験の無い私にとって、大変参考となりました。
- 現場実習では、現地で劣化を見ながら、メカニズム等を説明いただき、大変分かりやすかった。
- 現地での点検ポイントが、今後の調査の参考となりました。

補修(設計)関係 N=15
点検・診断関係 N=14
点検支援技術関係 N=7

自治体支援の取り組み(令和7年度の取組状況)

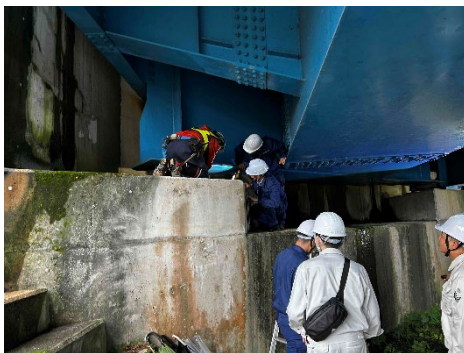
■ 広島県土木技術職員研修 (橋梁点検演習)

○ 目的

自治体職員を対象に、アセットマネジメントや橋梁の劣化機構に関する知識を習得するとともに、現場実習を通じて、道路施設の点検手法を身に付ける。

○ 実施日・参加者

開催日：令和7年10月3日 会場：東広島市【参加者：県18人・市町3人（3自治体）】



○ 研修内容

- ・ 広島県のアセットマネジメントに対する取り組み状況について（道路施設の現状、点検要領の概要を説明）
- ・ 橋梁の劣化機構について（橋梁の代表的な劣化機構を説明）
- ・ 橋梁点検演習（県管理橋梁について、現場で点検のポイントを確認し、グループワークで点検調書を作成）

○ 受講者からの意見・感想

- ・ 今後、インフラの老朽化が進む中で各施設に適した維持管理を行っていくことが重要であることがわかった。
- ・ 実務に直結する内容だった。グループワークでは、多様な視点から観察する必要性を実感した。
- ・ 今後も同様の講義が増えることを期待したい。

自治体支援の取り組み(令和7年度の取組状況)

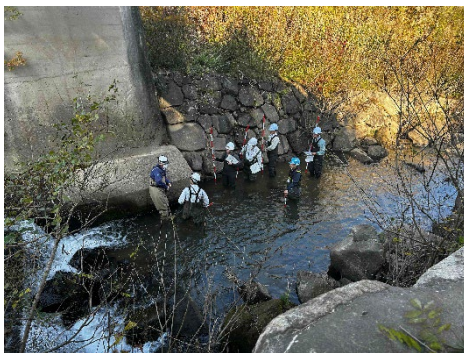
■ 広島県アセットマネジメント現場研修

○ 目的

自治体職員を対象に、アセットマネジメントに関する知識を習得するとともに、現場実習を通じて、道路施設の点検手法を身に付ける。

○ 実施日・参加者

開催日：令和7年11月14日 会場：東広島市【参加者：県11人・市町6人（4自治体）】



○ 研修内容

- ・ 広島県のアセットマネジメントに対する取り組み状況について（道路施設の現状、点検要領の概要を説明）
- ・ 橋梁点検のポイント（点検様式1～3の概略を説明）
- ・ 橋梁点検演習（市管理橋梁について、現場で点検のポイントを確認し、グループワークで点検調書を作成）

○ 受講者からの意見・感想

- ・ 点検調書作成時の注意点や要点がよくわかった。
- ・ 橋梁の基礎的な知識を学ぶことができた。
- ・ 損傷の状態と判定の理由の説明がわかりやすかった。

■点検支援技術現場勉強会

- 日時: 令和7年10月29日(水) 14:00~15:00
- 場所: 国道54号 三次大橋
- 参加者: 17人(国、自治体職員、NEXCO)
- 見学会内容: 「無人航空機(マルチコプター)を利用した橋梁点検システム」
「水中ドローンを用いた橋梁点検支援技術」

ドローンを飛ばしている様子



ドローン



ドローン操縦



水中ドローン

○受講者からの意見・感想

- ・水中ドローンの作業は初めて見たので良い経験になった。
- ・ドローン、水中ドローン共に点検の安全性向上になると思った。 13
- ・人が届きにくい箇所、ドローンを活用した点検を基に今後も外の業務で参考とし活用していきたい。

令和7年度の取組結果(トンネル点検勉強会)

- トンネル維持管理に関する知識と、点検支援技術等の最新の知見を習得する勉強会を開催。
- 今回の勉強会では、トンネル構造と変状要因・診断指標、点検支援技術(主に走行型計測車両)、トンネルの補修対策について説明を行った。

開催日時: 令和7年11月14日(金) 13:30~15:30

開催場所: 三次河川国道事務所 2階第1会議室
(WEB併用)

参加者 : 広島県、県内の自治体職員、NEXCO、
直轄の技術職員 23名参加

(勉強会の内容)

座学として、以下の説明を行った。

- トンネルの構造と変状要因、健全性診断指標と診断方法についての説明
- トンネルの定期点検方法、点検支援技術についての説明
- トンネルの補修対策と補修設計方法についての補修材料のサンプルを用いた説明

(アンケート結果)

○満足度: 8割の方が満足、やや満足という回答だった。

○講習内容: 点検支援技術(走行型計測車)や実材料を用いた補修対策の説明について興味を持ったとの回答が多かった。

○今後取り上げてほしい内容や要望(自由記載):

- 現場での実演等があるとより分かりやすいと思う。
- 橋梁点検についても聞きたい。
- 今後の未来に出てくるであろう技術について
- 土砂災害や防災に対する土木技術について



座学



補修材料サンプルによる説明

